

学習指導案の形式（例） 小学校外国語科

第〇学年〇組 外国語科学習指導案

令和〇年〇月〇日（〇）第〇校時 〇〇教室 指導者 〇〇 〇〇

1 単元名 〇〇〇〇〇〇〇〇「ユニット（レッスン）名」（第〇学年）

2 関係する内容のまとめ

例：「聞くこと」ア、「話すこと [やり取り]」

◇まとまりをもった教育内容の単位の名称を記述する。

◇ねらいを明確にするために、特に焦点を当てたい指導事項（内容）を絞る。
 ◇学習指導要領の4技能5領域（「聞くこと」「読むこと」「話すこと（やり取り・発表）」「書くこと」別の目標から当てはまる領域と記号を明記する。

3 第〇学年における教科目標

◇「2 関係する内容のまとめ」を踏まえた上で、教科目標を書く。

4 第〇学年における5領域別目標

◇「2 関係する内容のまとめ」を踏まえ、関係する領域の目標を書く。

5 単元の目標

◇学習指導要領の目標及び「2 関係する内容のまとめ」を踏まえて、一文で具体的に書く。
 ◇児童の立場で書く。

例：〇〇するために、〇〇等、具体的な情報を聞き取ったり、〇〇などについて伝え合ったりできる。また、アルファベットの活字体の〇文字を書くことができる。

6 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
例			
聞くこと	◇3観点に対して、縦枠に4技能5領域の中で取り上げるものを位置付けて書く。 ◇「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準は〔目的等〕も書く。 ◇「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準は、「粘り強さ、自らの学習の調整、他の2観点において重点とする内容、当該単元の具体的な言語活動」の内容を全て含め、単元の目標や学習内容等に応じて設定する。		
「話すこと [やり取り]」	例： <知識> ~について理解している。 <技能> ~について、伝え合う技能を身に付けている。	例： 〔目的等〕に応じて、~簡単な語句や基本的な表現を用いて~伝え合っている。	例： 〔目的等〕に応じて、~伝え合おうとしている。

7 例：「聞くこと」「話すこと [やり取り]」に焦点をおいた単元の指導と評価の計画（全〇時間）

時	ねらい・学習活動	知技	思判表	態度	評価規準及び評価方法
1	○例：~できる。 ○例：~の見通しをもつ。				◇「6 単元の評価規準」の観点をバランスよく位置付ける。
2	◇ねらいを明確にして書く。 ◇児童の立場で書く。	☒			例：~している。 ~しようとしている。（方法）

8 指導上の立場

- 単元観
- 児童観
- 指導観
- 研究主題との関連
- 全国及び県学力・学習状況調査との関連

◇指導者の立場で書く。

◇単元観…本単元で身に付けさせたい資質・能力、位置付ける言語活動とその特徴等を書く。
 ◇児童観…本単元に関する興味・関心、資質・能力の状況、既習の言語活動等について書く。本単元において目指す児童の姿等について書く。
 ◇指導観…指導・支援の重点、学習形態、その他の配慮事項等、児童のよさや可能性を生かすような指導方法の工夫等を書く。
 ◇研究主題との関連…研究主題の説明を簡潔に書き、研究主題と授業における指導方法の工夫等との関連等を書く。
 ◇全国及び県学力・学習状況調査との関連…現状と課題、課題についての取組等を書く。

9 本時案（第○時）

(1) 本時の目標

例：～することができる。

- ◇「5 単元の目標」「7 指導と評価の計画」との整合を図る。
- ◇本時の評価規準との整合を図る。
- ◇児童の立場で書く。

(2) 展 開

学習活動	教師の指導・支援	評価規準及び評価方法
<p>1</p> <p>◇児童の立場で書く。</p>	<p>○</p> <p>◇指導者の立場で書く。</p>	<p>◇児童の立場で書く。</p>
<p>2</p> <p>(1)</p> <p>◇活動に順序がある場合は、(1)(2)で書く。</p> <p>(2)</p> <p>例：～について話し合う。</p> <p>◇導入・展開・終末の学習過程に沿って、児童の学習活動を具体的に書く。</p> <p>◇授業展開については、「岡山型学習指導のスタンダード（授業5）」を参考にする。</p>	<p>○</p> <p>めあて</p> <p>◇児童の目的意識のまとまりを踏まえて、何をどのように学ぶのかを明確にして本時のめあてを書く。</p> <p>○例：～することで、～できるようにする。</p> <p>◇学習活動に沿って、指導・支援の意図、指導方法の工夫等について留意すべきことを具体的に書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が主体的に学習を進めるための手だて ・児童が対話的に学習を進めるための手だて ・児童が学習を深めるための手だて ・児童一人一人の学習状況に応じた手だて ・予想される児童の反応 ・資料提示のタイミングや方法 ・効果的な学習方法や学習形態の工夫・準備物 等 <p>◇学習活動と教師の指導・支援との関わりを対応させて書く。</p> <p>◇「努力を要する」状況（C）と判断される児童への手だてを書く。</p>	<p>◇本時の目標と整合した評価規準を具体的に書く。抽象的な文言ではなく、実際に評価可能なレベルまで具体化する。</p> <p>◇評価の場面は1、2箇所に絞る。</p> <p>◇評価規準に合わせて、評価の観点名を明記する。</p> <p>◇評価方法を具体的に書く。</p>
<p>3</p>	<p>○</p>	<p>○例：～を尋ねたり答えたりして伝え合っている。</p>
<p>4</p>	<p>○</p> <p>まとめ</p> <p>◇本時に何を学んだのかが分かるように整理し、本時のめあてと対応したまとめを書く。</p>	<p>[評価の観点] (評価方法)</p>
<p>5</p>	<p>○</p> <p>◇学習の成果が自覚できる振り返りの視点を明確にして書く。振り返りの視点は、『岡山型学習指導のスタンダード【増補版】授業改善「一歩先へ!」』を参考にする。</p>	<p>◇評価方法の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発言の内容 ・行動の観察 ・ノート、振り返りシート記述点検 等

◎「おおむね満足できる」状況（B）と判断する児童の姿 例：～している。

- ◇本時の評価規準に照らして、本時でねらう児童の姿について、想定される児童の発言や記述例等を取り入れながら具体的に書く。なお、ここに挙げる具体的な児童の姿が、どのような指導によって表れるのか等、指導と評価のつながりを意識して書く。